

6) 諸検討のまとめ

以上検討の結果を表にまとめると次の通りである。

基礎の種類		許容支持力		備 考
独立フーチング		8.4 t/m ²		1.50m×1.50mの正方形 直接基礎
支持杭	φ200	第1号孔	22.3t/本	フーチング底面地表面下 1.0mとし杭長5.0mの 間接基礎
		第2号孔	20.3t/本	
		第3号孔	22.5t/本	
	φ250	第1号孔	34.2t/本	同 上
		第2号孔	30.9t/本	
		第3号孔	34.5t/本	

1) 独立フーチング直接基礎の場合

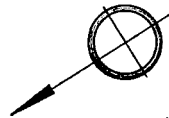
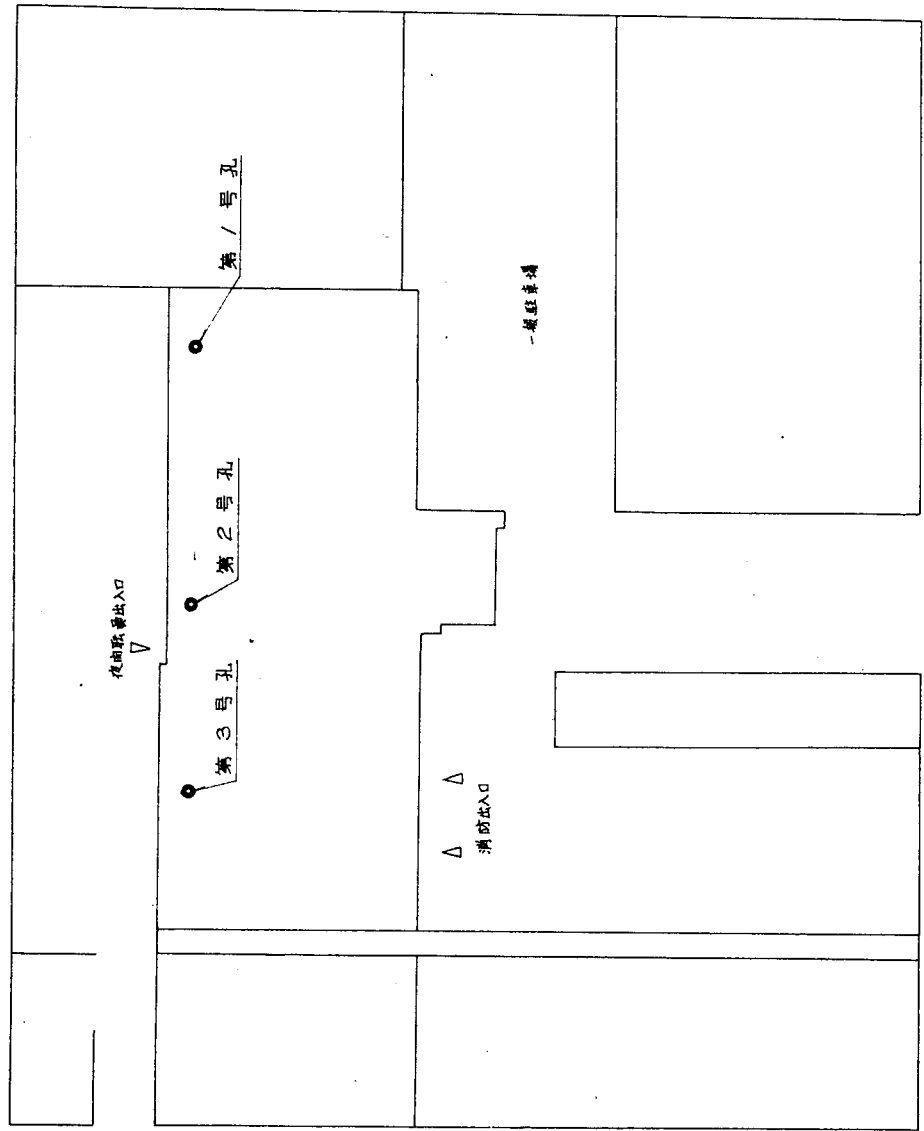
独立フーチング単位面積当りの許容支持力を8.4t/m²とする
と、1.5m×1.5mのフーチングを36箇構築したと仮定した場合
許容総荷重は約680tとなる。

基礎面の深度をさらに下げる等必要があろう。

位置图



Scale 1/500



土 質 柱 状 図

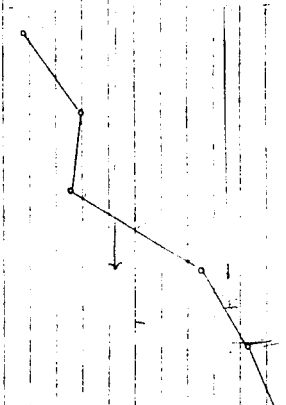
試 錐 番 号 1 号 孔

調 査 名 新十津川町庁舎建設地地質調査

標 高 m

調査位置	新十津川町字中央 番地			施 工	明治コンサルタント株式会社	主任技術者	山 田 康 治
						現場代理人	宮 崎 新 市
機 種	利根TFP-2E型	ストローク	3.0 m	工 法	ロータリ式	工 期	44年 5月 17日
原動機種	ヤマハ-NT75K型	方 向	垂 直	回 転 数	60~120 r.p.m		44年 6月 15日
最終孔径	66 mm	最終深度	10.00 m	水 深	m	縮 尺	1/100

標 高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	柱 状	地 質	水 位	記 事	採取深度 (m)	試料番号	標準貫入試験成績								
									深度 (m)	N 値	打 撃 数	10	20	30	40	50	
	0.65	0.65	X	表 土				1									
				褐色 粘土	m 1.40			2	1.50 1.80	9 30							
	2.60	1.95	●●●	暗灰色 砂 土				3	3.00 3.30	20 30							
	4.30	1.70	●●●	暗灰色 砂 土		細粒砂、砂礫 海層互層		4	4.50 4.80	18 30							
			●●●					5	6.00 6.30	43 50							
			●●●					6	7.50 7.80	51 30							
	10.00	5.70	●●●	暗灰色 砂 礫		シルトを含む 礫の大きさ 5%~30%		7	9.00 9.30	56 30							
								8									



土 質 柱 状 図

試 錐 番 号 2 号 孔

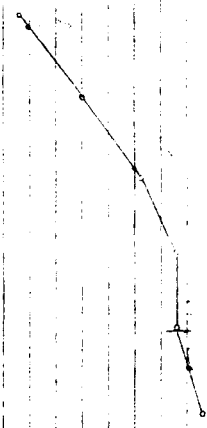
調 査 名 新十津川町庁舎建設地地質調査

標 高 m

調査位置	新十津川町字中央6番地			施 工	明治コンサルタント株式会社			主任技術者	山 田 康 治	
機 種	利根TFP-2B型	ス ー ク	30	機 式	ロータリー式			現場代理人	宮 崎 新 市	
原動機種	ヤマ-NT75K型	方 向	垂 直	回 転 速	60~120 R.P.M			工 期	44年 5月 17日	
最終孔径	66	最終深度	10.00	水 深	m			縮 尺	1/100	

標 高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	柱 状	地 質	水 位	記 事	採取深度 (m)	試料番号	標準貫入試験成績					
									深 度 (m)	N 補正値	打 撃 数			
									10	20	30	40	50	
0.85	0.85	0.85	X	黒褐色 表土	m			1						
1.35	0.50	0.50		暗褐色 粘土	1.40			2	1.50	8				
2.80	1.45	1.45		褐色 粘土				3	3.00	20				
4.20	1.40	1.40	//	褐色シルト混り砂礫				4	3.30	30				
			●					5	4.50	31				
			●					6	4.80	30				
			●					7	6.00	38				
			●					8	6.30	30				
			●					9	7.50	38				
			●					10	7.80	30				
			●					11	9.00	43				
			●					12	9.30	30				
10.00	5.80	5.80	●	暗灰色 砂 礫				13						

礫の大きさ
5%~30%
シルト混り



土 質 柱 状 図

試 錐 番 号 3 号 孔

調査名 新十津川町庁舎建設地地質調査

標 高 m

所在地	新十津川町字中央6番地	施 工	明治コンサルタント株式会社	主任技術者	山田 康治
				現場代理人	宮崎 新市
掘削機種	型機T型F-2B型	ストローク	30 cm	工 法	ロータリー式
掘削機種	アンマ-NT-75K型	方 向	垂 直	回 転 数	60~120 r.p.m
掘削孔径	66	最終深度	10.00 m	水	本 (表上の割合)
				縮 尺	1/400
				工 期	44年5月17日 44年6月15日

層 号	層 厚 (m)	土 質 状 況	地 質 記 事	採取深度 (m)	試料番号	標準貫入試験成績				
						深度 (m)	N 値	打 撃 数		
						10	20	30	40	50
1	0.90	黒褐色 表土		1.35	1					
2	1.70	褐色 粘土			2	1.50	8			
3	1.70		細粒砂、砂礫		3	1.80	30			
4	1.50	褐色 砂礫	の互層		4	3.00	10			
5					5	3.30	30			
6					6	4.50	39			
7					7	4.80	30			
8					8	6.00	38			
9					9	7.50	41			
			深部増すごとに礫の大きさが変		10	7.80	30			
			■ 上部は5%~20%		11	9.00	48			
			下部は5%~50%		12	9.30	30			
			シルト混り		13					